

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和4年	会計コード	10	一般	事業コード	23946
事業名	海外展開支援費					
評価担当課	所属名	経)経済戦略推 産業立地・戦略				
	課長名	菊田	担当者名	湯谷	電話番号	011-211-2362
施策名	主	様々な企業の立地や創業が進むことにより、産学官連携や、国内は				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	市内企業の輸出促進、海外展開の拡大に繋げる。			
		長期	今後予想される人口減少により国内の経済規模縮小が懸念される中、海外市場をターゲットにビジネス支援を行うことで市内企業の経営基盤強化・雇用拡大を図り成長に繋げる。			
	取組内容	①海外展開支援事業 海外展開に関するコンサルティング及び商談獲得マッチング支援等。 ②台湾食品海外コーディネート事業 市内企業からの輸出・海外展開相談、マッチング・オンライン商談支援等				
実施結果	①海外展開に関するコンサル業務が46件、商談獲得に関するマッチング支援が23件、以上事業全体で69件の支援を実施した。 ②コロナの影響により台湾現地での活動は制限されたものの、オンライン商談、渡航制限緩和以降はバイヤーを招聘しリアル商談会も実施。また、現地ニーズやバイヤーの声を纏めたレポート(台湾便り)を4回、オンラインでのセミナー1回を通して情報発信も行った。					
事業実施における工夫点	①幅広い海外展開へのニーズについて対応すべく対象業種・進出国について制限のない制度とした。 ②コロナの影響を鑑みてオンライン商談を活用し実施した。					
対象者	市内企業			開始	0 年度	終了 0 年度
関連法令・条例・要綱等						
他都市の状況	・70自治体が26カ国、59都市に268海外拠点(独自事務所、機関等派遣、業務委託)を設置(自治体国際化協会調べ[令和4年9月時点])。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費	24,752	46,000	39,430	82,000
うち特定財源	0	0	0	0
人工	0.7	0.7	0.7	0.7
人件費	5,040	5,040	5,040	4,970
計(事業費+人件費)	29,792	51,040	44,470	86,970
事業費の内訳	令和4年度決算	①海外展開支援事業:34, 881千円 ②台湾食品海外コーディネート事業:4, 550千円		
	令和5年度予算	①海外展開支援事業:50, 894千円 ②海外ビジネス促進PR事業:11, 306千円 ③都市間連携:16, 800千円 ④海外展開・誘致支援機能調査:3, 000千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	海外展開支援事業におけるコンサルティング支援社数(累計)							
	令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定					
	-	-	46	50					
活動指標2	指標名	企業から食品海外コーディネーターへの相談件数(台湾)							
	令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定					
	206	113	198	-					
成果指標1	指標名	事業を通じて成立した現地企業との商談数(累計)							
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標					
	124	184	207	-					
成果指標2	指標名								
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標					
項目	判定	理由							
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	①海外展開支援事業 海外展開に関するコンサル業務46件、商談獲得に関するマッチング支援23件を実施。 ②台湾食品海外コーディネート事業 リアル及びオンライン商談会実施。3件の商談が成約。また、現地ニーズやバイヤーの声を纏めたレポート(台湾便り)を4回、オンラインでのセミナー1回を通して情報発信も行った。							
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	①海外展開支援事業 69件の支援を実施し予算上限までの執行となる。適切な規模にて実施できた。 ②台湾食品海外コーディネート事業 令和3年度と同程度の予算にて実施。コロナの影響は前年度に引き続いており適切な規模であった。							
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	①海外展開支援事業 本事業については令和4年度初の取組。事業者の業種、進出国を問わない支援を可能とするため、海外展開支援企業のプラットフォームの運営を行う事業者に委託を行い実施した。 ②台湾食品海外コーディネート事業 平成30年より継続実施している事業であり、引き続きさっぽろ産業振興財団と連携を取り実施した。							
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	①海外展開支援事業 支援を利用した80%以上が支援後のアンケートにて「満足した」と回答。 ②台湾食品海外コーディネート事業 商談会にて成約も複数件あり満足度の高い内容となった。							
市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外 市民参加結果への対応 ☐ 回答 ☐ 反映								
今後の改善点	①海外展開支援事業 本年度は市直営で事業を実施していたが、市内事業者への継続的な支援に向けた体制整備が必要であるとともに、より一層の市内企業の海外進出に向けた意識啓発を行う必要がある。 ②台湾食品海外コーディネート事業 海外展開支援事業全体の中で分野・対象国を再整理する必要がある。								
前回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし								
今年度取り組んだ見直し内容	①海外展開支援事業についてさっぽろ産業振興財団への補助金事業に変更。②市内企業の海外展開の掘起こしのため、PR事業を開始。③台湾食品海外コーディネート事業廃止。④調査事業を開始。		見直し効果額 (前年度)	0	千円				
今回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし								
評価の理由	支援を受けた事業者の満足度高さ及び商談の成約という成果がでており効果的な事業を実施できた。								
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 休止・廃止 海外展開支援事業について、事業者の業種、進出国を問わない支援として令和4年度より実施したものであり、支援を受けた事業者の満足度も高い。また、一層効果的に実施するため実施体制を令和5年度に見直ししたことから支援を継続する。							
	予算	☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ その他 令和5年度予算にて大幅な拡充を行っており、現状維持を見込む。			見直し効果額 0 千円				